

資料3

平成30年3月23日  
地域自立支援協議会

# 平成29年度

## 相談支援に関する取組

平成30年3月23日  
三条市福祉保健部福祉課

# 1 事務局会議について

## (1) 開催回数

11回（毎月1回程度）

## (2) 出席者

市内委託相談支援事業所（4か所）及び市担当者

## (3) 内容

- ア 地域自立支援協議会（全体会）の資料調整
- イ 相談支援ケース検討会の開催に関すること
- ウ 相談支援に関する課題の整理
- エ 事業所情報交換会の開催に関すること

## 2 相談支援ケース検討会について

### 【第1回】

- (1) 開催日 平成29年11月17日（金）
- (2) 出席者 市内相談支援事業所
- (3) 内容 強度行動障がい児・者への支援体制の拡充方法について、グループワークを通じ検討

### 【第2回】

- (1) 開催日 平成30年3月8日（木）
- (2) 出席者 市内相談支援事業所、地域包括支援センター等
- (3) 内容 介護サービス従事者との連携体制について、事例発表やグループワークを通じ検討

### 3 事業所情報交換会について

#### 【特別支援学校等卒業後の進路に関する情報交換会】

- (1) 開催日 平成29年7月6日（木）
- (2) 出席者 三条市在住の生徒が在籍する特別支援学校等の進路指導担当者、市内障がい福祉サービス事業所等
- (3) 運営 事務局会議
- (4) 内容

特別支援学校等の進路指導担当者と市内の障がい福祉サービス事業者、相談支援事業所で、進路希望状況やサービス事業所の空き状況等について情報交換

## 4 計画推進部会（相談支援）について

### 【第1回】

- (1) 開催日 平成29年11月16日（木）
- (2) 出席者 計画推進部会員（相談支援部門）
- (3) 内容 相談支援事業の課題について整理し、今後の連携の在り方を協議

### 【第2回】

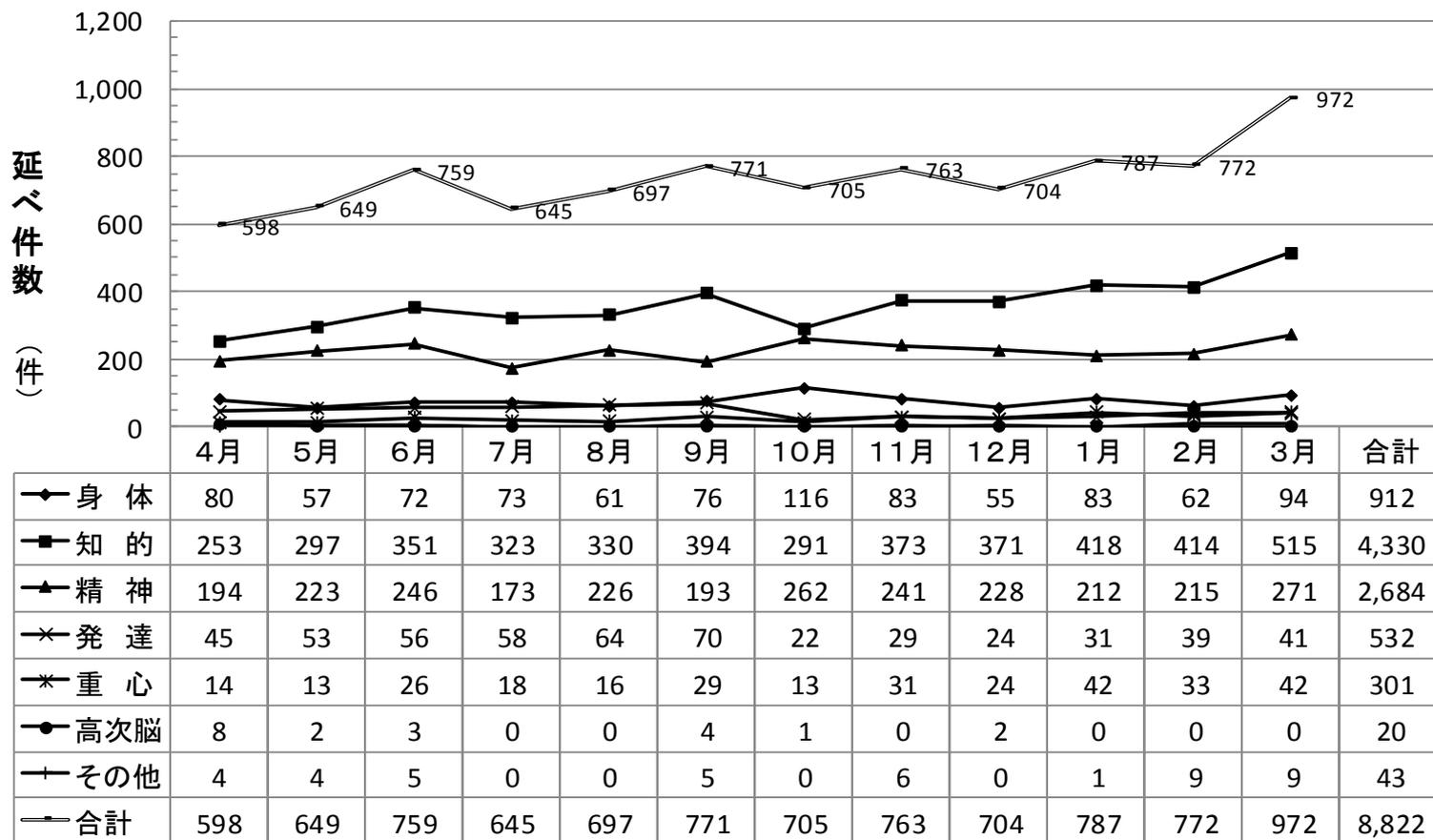
- (1) 開催日 平成30年3月16日（金）
- (2) 出席者 計画推進部会員（相談支援部門）、市内委託相談支援事業所（4か所）
- (3) 内容 平成30年4月の計画相談の報酬改定に関する意見交換及び平成30年度の体制を確認

# 5 相談支援活動の状況（平成28年度）

## (1) 相談件数の推移

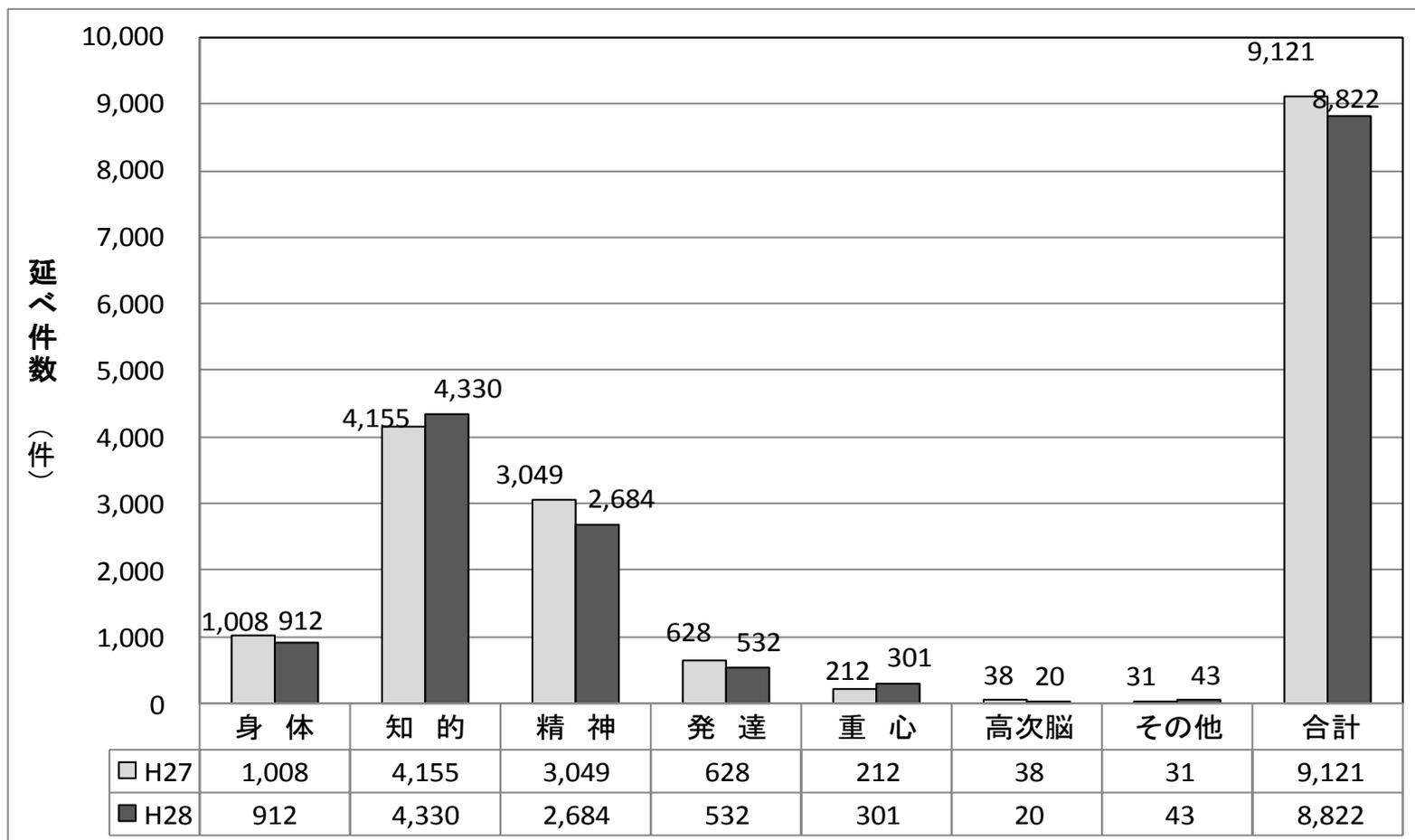
- 相談件数は知的障がい、精神障がい、身体障がいの順に多い傾向にあります。
- 相談件数の最も多い知的障がいは、全体の約50%を占めています。
- 重症心身障がい、高次脳機能障がい、その他\*は全体の約4%で相談件数は少ない傾向にあります。

※「その他」とは、障がい手帳をお持ちでない方や自立支援医療（精神通院）を受けていない方を含む。



## (2) 相談件数の比較

- 前年度（平成27年度）と比較すると、前年比約97%と相談件数は微減していますが、知的障がい、重度心身障がい、その他の種別で増加しており、依然として相談件数は多い水準となっています。
- 伸び率の順は、重度心身障がい（前年比約142%）、次いでその他障がい（前年比約139%）となっています。



### (3) 相談内容の傾向

相談内容別で見ると、障がい福祉サービスの利用に関する相談の件数が多く、全体の55.9%を占めています。障がい種別全てにおいて多い傾向にあります。

また、身体、知的、精神障がい別では、主に次の傾向が見られます。

■ 身体障がい                    健康・医療に関する相談が、他に相談に比べ多い傾向にあります。

■ 知的障がい                    不安の解消・情緒不安定に関する相談が、他の相談に比べ多い傾向にあります。

他の障がい種別に比べると、社会活動・余暇活動に関する相談、権利擁護に関する相談が多い傾向にあります。

■ 精神障がい                    健康・医療に関する相談が、他に相談に比べ、特に多い傾向にあります。

各障がい別・内容別の相談件数については、8～9ページに掲載しています。

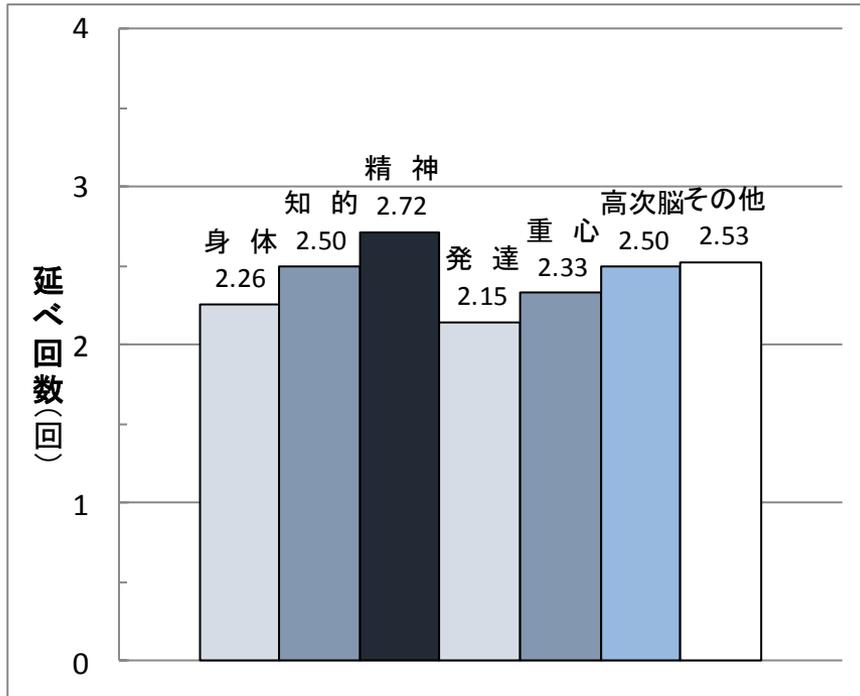
## (4) 相談内容集計表

1/2

種別	相 談 内 容 別 (件)					
	福祉サービスの利用等に関する	障がいや病状の理解に関する	健康・医療に関する	不安の解消・情緒不安定に関する	保育・教育に関する	家族関係・人間関係に関する
身体	1,206	76	332	58	4	78
知的	4,842	312	477	757	59	397
精神	1,927	219	852	475	7	275
発達	445	55	49	74	61	42
重心	544	12	20	2	6	6
高次脳	41	3	3	0	0	1
その他	34	4	12	5	3	2
計	9,039	681	1,745	1,371	140	801

種別	相談内容別 (件)					
	家計・経済に関する	生活技術に関する	就労に関する	社会活動・余暇活動に関する	権利擁護に関する	その他
身体	36	96	24	14	7	48
知的	244	409	228	144	144	104
精神	96	359	178	94	24	44
発達	2	23	36	3	0	7
重心	0	2	0	0	0	1
高次脳	0	3	0	0	0	2
その他	2	4	1	1	1	0
計	380	896	467	256	176	206

## (5) 1人当り月平均相談回数



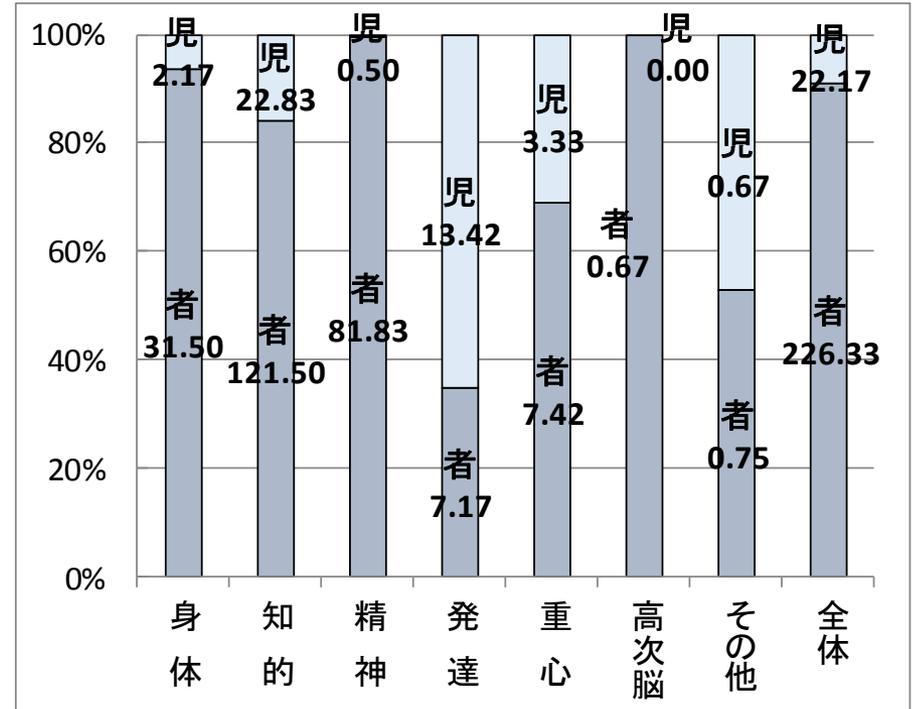
- 平均相談回数の多い順から精神障がい、知的障がい・高次脳機能障がいと続きます。
- 平均回数が最も多い精神障がいは **2.72回** です。

○ 算出式

$$\text{平均相談回数(月単位)} = \frac{\text{延べ相談件数の合計}}{\text{相談実人数(月単位)の合計}}$$

## (6) 月平均相談実人数

(人)



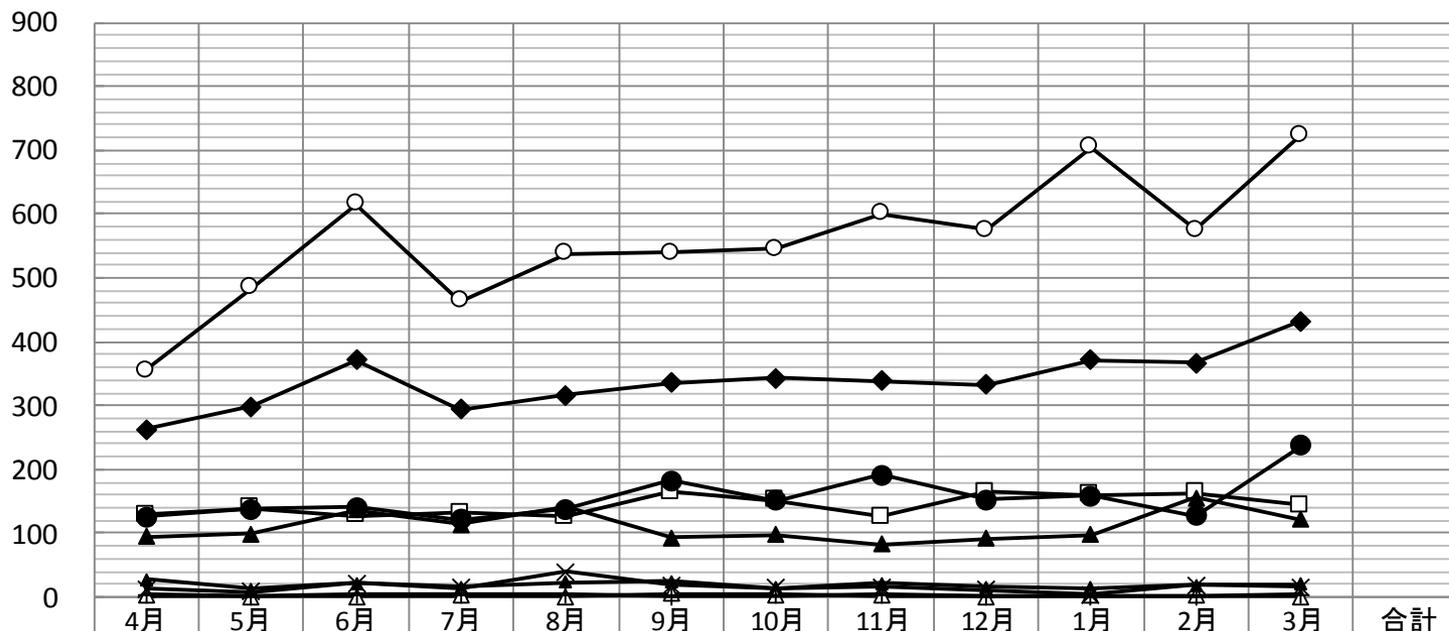
- 障がい種別に応じた月平均実人数の割合です。
- 発達障がいについて、者よりも児についての相談が半数以上を占めます。

## (7) 相談対応の実績

■対応回数は関係機関（病院・保健所・施設等）との連携、電話相談の順に多い傾向にあります。

■支援回数の最も多い関係機関との連携は、全体の約42%を占めています。

回数  
(回)



□ 訪問	129	139	127	131	125	164	151	126	164	160	163	144	1,723
▲ 来所相談	95	99	136	114	140	93	97	83	91	97	155	122	1,322
▲ 同行	27	13	22	15	23	25	14	22	15	14	19	20	229
◆ 電話相談	262	299	372	294	316	336	343	338	333	371	367	432	4,063
△ 手紙	2	0	1	2	0	5	3	2	1	2	2	1	21
十 電子メール	3	1	3	3	3	1	2	3	0	1	1	3	24
● 個別支援会議	126	137	140	121	138	182	151	191	153	159	127	237	1,862
○ 関係機関	355	485	616	463	538	540	545	601	576	705	575	725	6,724
× その他	13	8	21	14	40	18	14	16	11	4	18	15	192

## (8) 相談対応の比較

- 対応を比較すると、障がい種別に関わらず、関係機関との連携と電話相談が大部分を占めています。
- 精神障がいは、他と比べると電話相談の割合が高い傾向にあります。

